

上段：変更前  
下段：変更後

農地中間管理機構関連農地整備事業

# 土地改良事業計画概要書

( 区 画 整 理 )

県 地 所 事 業 主 体  
名 在 地 主 体  
岩 曲 一 岩  
手 田 市 県  
関 手

# 土地改良事業計画概要書

## — 目 次 —

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域の所在	1
第2節	現況	2
第3節	水利状況	4
第4節	営農状況	4
第5節	地域環境の概況	5
第3章	基本計画	6
第1節	計画の要旨	6
第4章	工事又は管理の要領	7
第1節	工事の施工計画	7
第2節	管理の要領	7
第3節	予定工期	7
第5章	換地計画の要領	7
第1節	換地計画樹立の必要性	7
第2節	換地計画樹立の基本方針	7
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積	8
第4節	非農用地の換地方法	9
第6章	費用の概算	10
第7章	効用	11
第8章	他の事業との関係	11
第9章	計画概要図	11

## 第1章 目 的

本計画地域は、岩手県一関市藤沢町の中心部より南西約10kmの中山間地域に展開する2集落（上曲田、下曲田）の水田地帯である。

本地区は北上川左岸に展開する地域で、地区の中心を一般県道東和薄衣線が通り、西側及び南側を一級河川北上川が流れている。

本地区の農地は、一部の10a区画を除き、大半は未整備で不整形の小区画であるとともに、農道が接しておらず田越しでの通作を余儀なくされるか、農道の幅員も狭いため、大型農業機械導入の妨げになっている状況である。

また、用排水施設の老朽化と大半の用排水路が土水路であるため、用水確保に維持管理労力と多大な費用を要している。

さらに、水路底が浅いため地下水排除ができず、農業機械の作業効率の低下、乾田化による高収益作物の導入が困難な状況にある。

このような地区の問題を解消するため、農業基盤を整備し、併せて、担い手への農地集積・集約化を促進し、地域農業の発展に資するものである。

〃

### 地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	水 田	普通畑	樹園地	計	道水路等	その他	合 計
一関市	20.5	4.3	—	24.8	1.8	1.1	27.7
〃	〃	〃	—	〃	〃	0.9	27.5

## 第2章 地域の所在及び現況

### 第1節 地域の所在

岩手県 一関市 藤沢町 黄海 地内  
〃

第2節 現 況

上段：変更前  
下段：変更後

第1項 地形、地質及び土壤

本計画地域は標高12～15mに位置し、地形勾配は平均1/243程度（1/65～1/3, 333）の傾斜を成している。

地質は水積による固結火成岩及び固結堆積岩で、土壤は灰褐色土壤粘土質構造マンガン型（G61）となっている。

第2項 気 象

（岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版）  
（岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版）

(1) 一般気象

観測所名	千厩地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	M34～H24年 H25～R4年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)		19.4 19.9 ℃	6.3 6.6 ℃	10.7 11.1 ℃	
降水量	平均(mm)	513.5 542.4 mm	587.7 604.7 mm	1,101.2 1,147.1 mm	
	基準年(mm)	— 〃 mm	— 〃 mm	— 〃 mm	
降水日数	平均(日)	44 43 日	73 64 日	117 107 日	
	基準年(日)	— 〃 日	— 〃 日	— 〃 日	
根雪期間		—月—日 〃月〃日	～—月—日 〃月〃日	—日間 〃日間	
無霜期間		5月6日 5月7日	～10月19日 〃月〃日	167日間 166日間	
最多風向		NW 〃	最大風速 (風向)	15.0 13.2 m/s (—)	最多風向発生時期 — 最大風速発生年月日 —

(2) 特殊気象

上段：変更前  
下段：変更後

(計画樹立参考資料 平成 26年3月版)  
(計画樹立参考資料 令和 6年3月版)

観測所名	1位			2位			3位			4位			5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
千厩地域気象観測所 〃																
観測期間 M34年～H24年 M34年～R4年																
最大日雨量 (mm)	160.0 〃	S23.9.16 〃	1/159 1/150	142.0 〃	T2.8.27 〃	1/64 1/60	135.0 〃	S61.8.5 〃	1/45 1/42	131.0 132.0	M43.8.15 R4.7.16	1/37 1/36	130.0 131.0	T11.2.16 M43.8.15	1/35 1/34	
最大時間雨量 (mm)	59.0 〃	S57.8.21 〃	1/75 1/86	47.5 〃	H23.9.1 〃	1/26 〃	47.0 〃	H6.8.19 〃	1/24 〃	44.0 46.5	S41.9.25 R2.7.22	1/18 1/23	42.0 44.0	H22.7.4 S41.9.25	1/15 1/17	
最大4時間雨量 (mm)	94.0 105.0	S30.9.6 H25.7.26	1/163 1/141	82.0 97.0	H14.7.11 H25.7.26	1/50 1/77	80.0 94.0	S41.9.25 S30.9.6	1/41 1/62	77.5 82.0	H20.9.12 H14.7.11	1/32 1/24	77.0 80.5	H14.7.11 H27.9.11	1/30 1/22	
最大3日連続雨量 (mm)	249.0 〃	M43.8.10 〃	1/274 1/271	212.0 〃	T2.8.27 〃	1/78 1/77	189.0 〃	H14.7.11 〃	1/35 〃	189.0 〃	S23.9.17 〃	1/35 〃	189.0 〃	S23.9.16 〃	1/35 〃	
最大連続旱天日数 (日)	38.0 〃	S59.7.20 〃	1/- 〃	35.0 〃	S53.7.12 〃	1/439 1/584	34.0 〃	S4.7.29 〃	1/263 1/340	31.0 〃	S29.7.30 〃	1/65 1/79	31.0 〃	S18.7.11 〃	1/65 1/79	

上段：変更前  
下段：変更後

### 第3節 水利状況

#### 第1項 用水状況

本地区の用水は、一級河川北上川を水源とする揚水機場3か所（上曲田、上曲田第一、下曲田）の系統と、上曲田ため池1か所（下曲田ため池は補水用）の系統、及び溪流水の系統に分けられる。

また用水路は一部舗装されているが、大半が用排兼用土水路であり、漏水が生じて用水供給が不安定で水管理及び維持管理に多大な労力と経費を費やしている状況にある。

〃

#### 第2項 排水状況

本地区の排水は、地区内の小用排水路を経由して、一級河川北上川へ排出している。

大雨の際は地区内水路の断面不足により越水する恐れがあり、農作物への被害が懸念される。

また排水路は、深さが浅く水田の汎用化のための地下水排除機能を果たしておらず、農業機械の作業効率の低下を来しているとともに、土水路が大半のため、排水管理及び泥上げ等の維持管理にも多大な労力と経費を費やしている。

〃

### 第4節 営農状況 専業別農家数及び平均経営耕作面積

2015農林業センサス  
2020農林業センサス

戸数		項目				一戸当たり平均経営耕作面積	田	普通畑	その他	計	地域指定等
		専業	第一種兼業	第二種兼業	計						
専業別	一関市	戸数	1,733 戸	801 戸	5,261 戸	7,795 戸	0.90 ha	0.12 ha	0.19 ha	1.21 ha	農業振興地域 S45
		割合	-	-	-	-	1.50	0.46	0.05	2.01	〃
	本地区	戸数	3 戸	6 戸	42 戸	51 戸	74.4 %	9.9 %	15.7 %	100 %	野菜指定産地 S48
		割合	-	-	-	-	74.6	22.9	2.5	100	〃
		戸数	3 戸	6 戸	42 戸	51 戸	0.00 ha	0.08 ha	- ha	0.08 ha	果樹濃密 H2
		割合	-	-	-	-	〃	〃	-	〃	酪農肉用牛 H18
		割合	5.9 %	11.8 %	82.3 %	100 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	100	〃
			-	-	-	-	〃	〃	〃	〃	

上段：変更前  
下段：変更後

経営農用地広狭別農家数

2015農林業センサス  
2020農林業センサス

区 分	農 家 総戸数	経営農用地広狭別農家数									耕地の分散状況		一戸当たり 平均耕地面積	
		0.5ha 未満	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha 以上			自給的 農家数	一戸当たり 団地数		団地当たり 面 積
一関市	11,388	1,563	2,623	1,443	757	669	394	382			3,557	-	a	a
〃	8,996	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃			3,487			201

## 第5節 地域環境の概況

一関市は豊かな水と彩りある美しい緑に包まれており、市の中央を南流する北上川には、磐井川、砂鉄川、千厩川、金流川などが注ぎ込み、多様な水辺環境を形成している。また、当市の西部には栗駒国立公園に指定されている奥羽山系や、東部は室根高原県立自然公園となっている室根山をはじめとする北上高地の丘陵地帯が広がっている。

このような豊かな自然環境を健全な状態で次世代に引き継ぐため、生態系や自然環境の保全に取り組む必要がある。

本地区では、農地や水路に隣接する湿地にはノダイオウ、アギナシ、ミミガタテンナンショウ、カワラナデシコ、キクタニギクの生育が、また鳥類はミサゴ、サシバ、淡水魚類はミナミメダカの生息が確認されている。

### 第3章 基本計画

上段：変更前  
下段：変更後

#### 第1節 計画の要旨

農地の大区画化、用排水路と農道の整備を実施し、農業生産性の向上をめざす。

また、暗渠排水を施し、耕地の汎用化を促進して、農作業効率の向上を図り、土地の生産性を高める。

環境との調和への配慮として、整備区域内の法面等に生育する希少種の植物は近傍の類似環境へ移植する。また、移植が難しい希少種が生育する区域は現況保存とするなど、生態系に配慮した計画とする。

〃

事業計画一覧表

種別	事業量	摘要
区 画 整 理	21.9 22.1 ha	表土扱い A=21.9 ha 表土扱い A=22.1 ha
	3,762 〃 m	砂利道 B=5.0 (4.0) ~4.0 (3.0) 〃
	5,283 〃 m	管水路(塩ビ管)100~250mm、開水路400mm、揚水機1ヶ所、ため池1ヶ所、溪流取水工1ヶ所 管水路(塩ビ管)100~250mm、揚水機3ヶ所、ため池1ヶ所、溪流取水工1ヶ所
	2,405 〃 m	鉄筋コンクリート排水フリューム 300×300~800×800 〃
	17.0 17.2 ha	吸水渠H=0.6m φ50~60m/m、集水渠 H=0.6m φ50~65m/m 〃



#### 第4章 工事又は管理の要領

##### 第1節

##### 工事の施工計画

1. 工事は、全て県営事業による請負工事とする。  
”
2. 施工は、農業土木工事共通仕様書による他、特記仕様書による。  
”

##### 第2節

##### 管理の要領

施工後の諸施設の管理は、藤沢土地改良区及び一関市が行う。  
”

##### 第3節

##### 予定工期

平成30年～令和7年  
” 令和10年

#### 第5章 換地計画の要領

##### 第1節

##### 換地計画樹立の必要性

効率的な営農を展開するため、担い手への利用権設定など利用集積の促進を図り、生産性の高い農業を実現できるよう換地計画を樹立する必要がある。  
”

##### 第2節

##### 換地計画樹立の基本方針

##### 第1項 従前地の地積の基準

換地交付の基準とする従前土地の地積は、土地改良事業計画の決定の日の登記簿地積とする。但し、上記の日から2ヶ月以内に測量士等の資格者が測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出の地積とする。  
”

上段：変更前  
下段：変更後

第2項 農用地集団化の方針

区分 換地区	地帯別グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い
上曲田 下曲田 〃	地目別・作物別集 団化、営農グル ープ別集団化を図る 〃	各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、 育成すべき経営体の経営農用地を中心として農用地集積 が図られるように配慮する。 〃	1～2団地 〃	固定畦畔 〃

第3項 清算の方法

比例地積清算方式

〃

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

(単位：ha)

用途	公用公共用地				一般国有地	合計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
道路		0.0 〃	1.0 0.9	1.0 0.9		1.0 0.9
水路			0.8 〃	0.8 〃		0.8 〃
ため池			- -	- -		- -
宅地	0.6 〃				- -	0.6 〃
計	0.6 〃	0.0 〃	1.8 1.7	1.8 2.3	- -	2.4 2.3

岩手県一関市藤沢町黄海 地内

〃

第4節 非農用地の換地方法

上段：変更前  
 下段：変更後  
 (単位：㎡)

換地区名	区分	種類	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得 予定者	その他
上曲田	-	普通財産	- 一関市藤沢町黄海字上曲田 地内	- 2,629	- 特定用途用地換地	- 国土交通省	
下曲田	-	普通財産	- 一関市藤沢町黄海字上曲田 地内	- 3,453	- 特定用途用地換地	- 国土交通省	
計				- 6,082			

上段：変更前  
下段：変更後

第6章 費用の概算

単位：千円

事業名	総事業費		負担内訳				備考
	費目	金額	国費 (62.5%)	県費 (27.5%)	地元負担 (10%)		
					市町村 (10%)	農家 (0%)	
農地中間管理機構関連農地整備事業 (区画整理)	事業費	1,046,700 1,614,350	654,188 1,008,969	287,842 443,946	104,670 161,435		
	費目	金額	国費 (0%)	県費 (100%)	地元負担 (0%)		
					市町村 (0%)	農家 (0%)	
	工事雑費	-	-	-	-	-	
	事務費	-	-	-	-	-	
	計	1,046,700 1,614,350	654,188 1,008,969	287,842 443,946	104,670 161,435		

上段：変更前  
下段：変更後

第7章 効用

区 分	全 体 (千円)		区画整理 (千円)		備 考
	便 益 額	所 得 額	便 益 額	所 得 額	
農業生産向上効果 (作物効果)	7,430 11,083	6,495 8,944	7,430 11,083	6,495 8,944	
農業経営向上効果 (営農経費)	47,507 72,442	48,950 74,147	47,507 72,442	48,950 74,147	
農業経営向上効果 (維持管理)	△ 1,647 △ 1,815	2,279 3,127	△ 1,647 △ 1,815	2,279 3,127	
農業の持続的発展に関する効果 (耕作放棄防止効果)	9 533	-	9 533	-	
農村振興に関する効果 (非農用地等創設効果)	-	-	-	-	
その他効果 (文化財の調査に関する効果)	-	-	-	-	
その他効果 (国産農作物安定供給効果)	1,808 3,047	-	1,808 3,047	-	
合 計	55,107 85,290	57,724 86,218	55,107 85,290	57,724 86,218	総費用総便益比= 1.06 1.05

第8章 他の事業との関係 該当なし

区分	事業名	事業主体	受益面積	工 期	事業費 (百万円)	前年度までの 進 捗 率	事業との関連

第9章 計画概要図

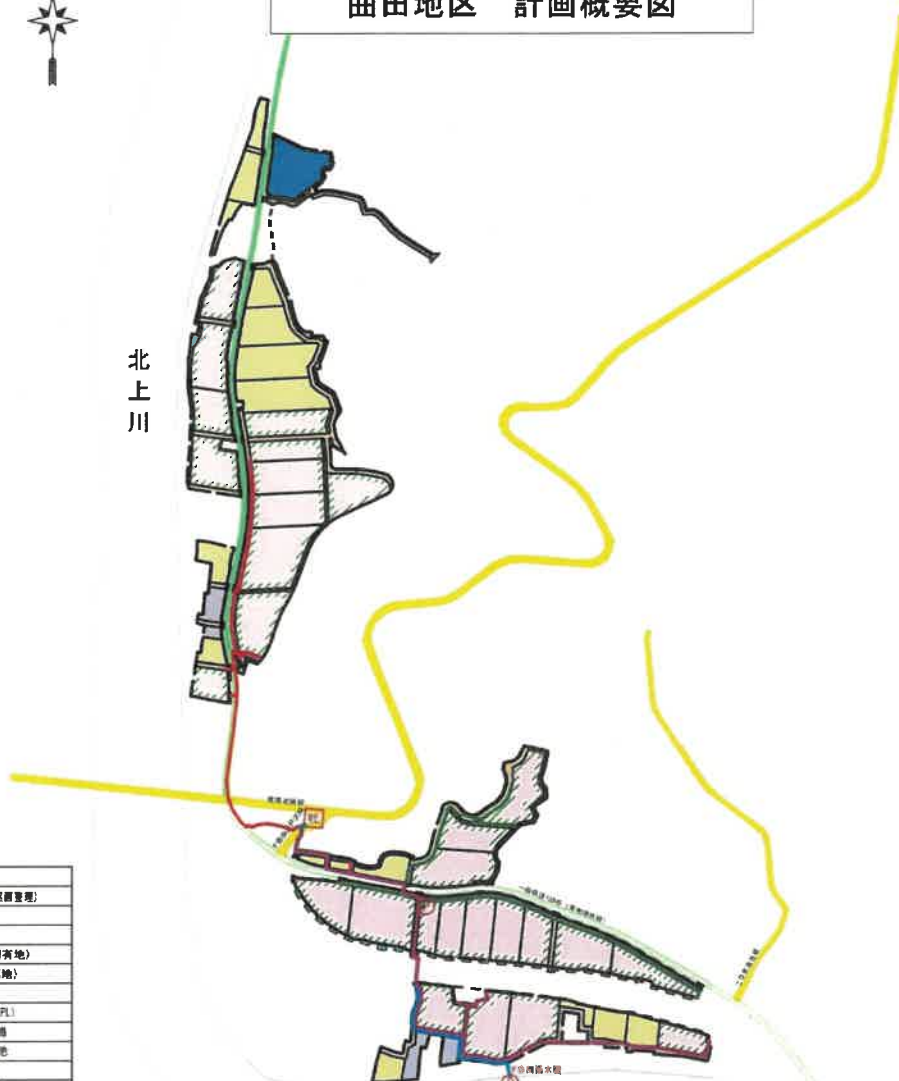
別 添



# 曲田地区 計画概要図

北上川

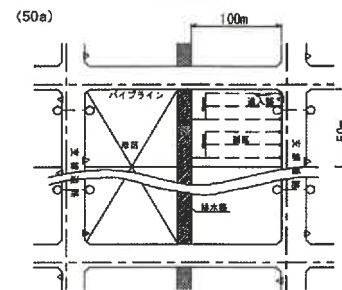
凡 例	
	一定区域(区画整理)
	水田
	畑
	親権地(国有地)
	権限地(高地)
	計画道路
	電線溝(PL)
	計画排水路
	計画ため池
	ポンプ
	計画排水槽
	溝道
	市道
	既設利用排水路
	既設排水路



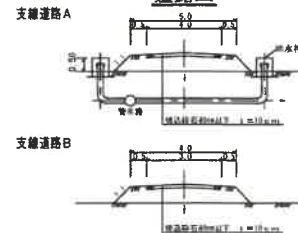
変更前



## 標準区画



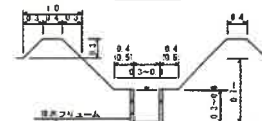
## 道路工



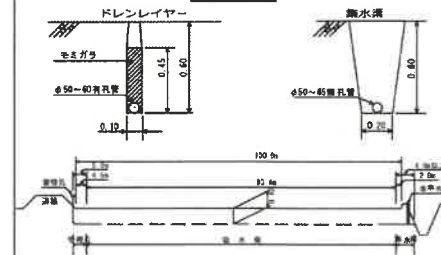
## 用水路工



## 排水路



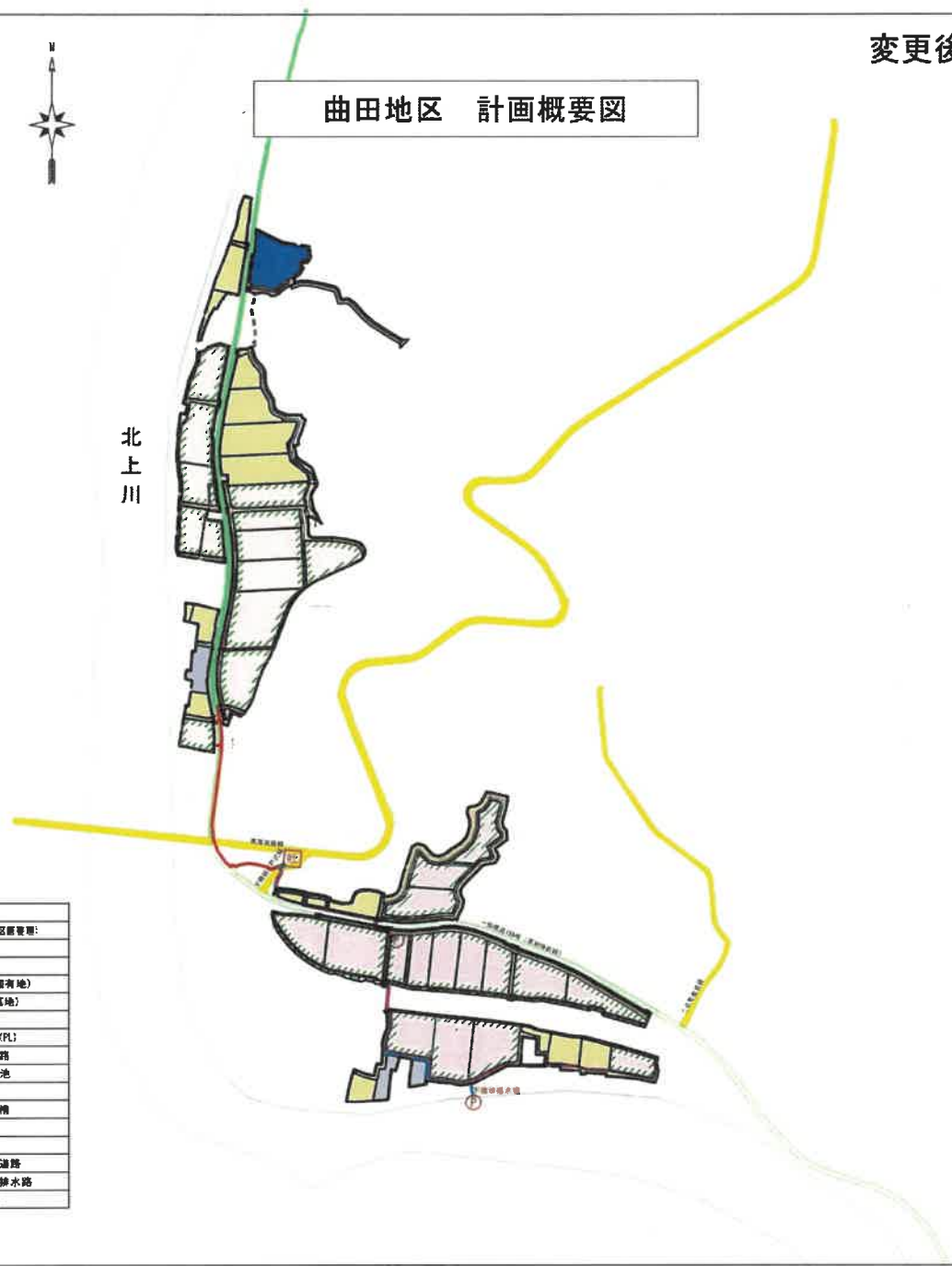
## 暗渠排水





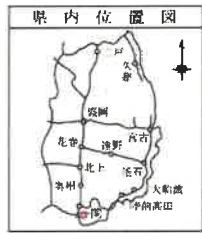
# 曲田地区 計画概要図

北上川

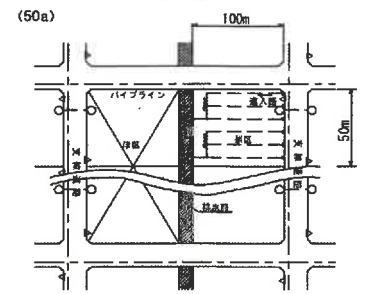


凡 例	
	一定区域・区域管理界
	水田
	畑
	雑草地(農有地)
	雑草地(高地)
	計画道路
	管理道路 (PL)
	計画排水路
	計画ため池
	ポンプ
	計画排水構
	農道
	市道
	施設利用道路
	施設利用排水路
	標準排水

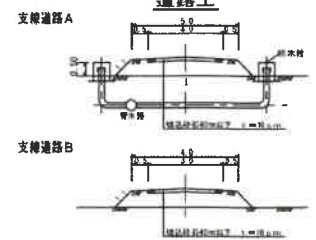
変更後



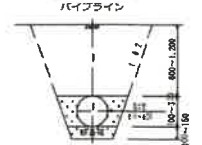
## 標準区画



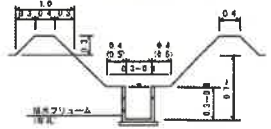
## 道路工



## 用水路工



## 排水路



## 暗渠排水

